

令和2年1月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年1月28日(火) 午前9時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教育長	遠藤浩	教育長職務代理者	黒川優子
委員	山崎克弥	委員	中野信男
委員	秦久美子	委員	斎藤純郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主幹	二平芳信
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	指導主事	廣川統

5 本委員会書記

学校教育課 横田雄司 他2名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第1号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 1 号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

その他

- (1) 令和元年度燕市幼稚園・こども園修了式・閉園式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者について
- (2) 子育て支援課における相談窓口新設に伴う組織改正について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時30分～

2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈遠藤教育長が以下のとおり報告〉

1 働き方改革について

燕市として、校長会と連携しながら、「方針」策定作業に入る。そこでは、働き方改革の本質である業務量の縮減を第一に議論を進めていただきたいと考えている。業務量を減らした上で、変形労働時間制の導入のための準備も考えていきたい。

なお、県教育委員会は、昨年12月の定例会で「県立学校における教員の勤務時間に関する方針」を承認し、公表した。

2 県などの動き

(1) 県立高校の高校入試が令和3年度入試から少し変わるかもしれない。変わるというより、高校ごとに違いが出てくるようだ。よいことだと感じる。そもそも高校にはそれぞれ個性や特色、そして担うべき役割に違いがあるのだから、アドミッションポリシーとしての差があっても当然である。

(2) 海外大学への進学や留学に対する関心が高まっている。日本の大学の魅力をどう考えるのかといった議論も必要なようにも思うが、語学中心に学びを考えるなら、海外へ出た方が良いに決まっている。新潟県からの海外大学進学者は中国や台湾にも多く進学していることをご存じだろうか。

(3) 寄附報告

1 件の寄附について

〈太田学校教育課長が説明〉

4. 専決処分の報告について

報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

2 件の共催・後援について

〈No. 1 について石田社会教育課長が説明〉

〈No. 2 について太田学校教育課長が説明〉

5. 協議題

協議第 1 号 新規共催・後援申請について

2 件の後援について

〈太田学校教育課長が説明〉

6. 議案

議案第 1 号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

新しく委員になられた皆さんは、教育そして地域に精通している方々なので、よくご意見をお聞きして、より良い答申をいただけるよう取り組んでいただきたい。

審議の結果、全員異議なく議案第 1 号は原案通り議決された。

7. その他

(1) 令和元年度燕市幼稚園・こども園修了式・閉園式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者について

(2) 子育て支援課における相談窓口新設に伴う組織改正について

○委員（斎藤 純郎）

妊娠から子育てに至る切れ目のない支援が何よりも必要だということは、様々なアンケート調査結果や計画の中でも示されている。燕市にとっては、最も重要な課題であると思うので、それを解決する一助になることを期待している。

8. 閉会 午前 10 時 02 分

教 育 長 遠藤 浩

会議録署名委員 中野 信男

会議録調整者 矢川 麻里子
